

槇尾中学校区

今後の教育環境について

平成30年5月 No.5

槇尾中学校区においては、平成30年1月から意見交換会がスタートしています。
この5月には、役員交代等による新たなメンバーでこれまでの内容確認と今後の予定について意見交換会を行いました。
今後は、地域全体での説明会の実施等について具体的に検討していく予定です。
引き続き、より良い教育環境の検討に向けご協力をお願いします。

今後の予定

これまでの意見交換会でもお知らせしている内容等について、広く説明を行う説明会を予定しています。
詳細が決定次第、お知らせします。

- 7月上旬 … 就学前保護者・小中学校児童生徒保護者対象説明会
 - 7月下旬 … 地域全体説明会(槇尾中学校区にお住まいの方対象)
- ※ 会場は、どちらも南部リージョンセンターを予定しています



平成30年度
第1回 榎尾中学校区
学校適正配置に関する
意見交換会

平成30年5月



平成29年度より 意見交換会を実施した背景

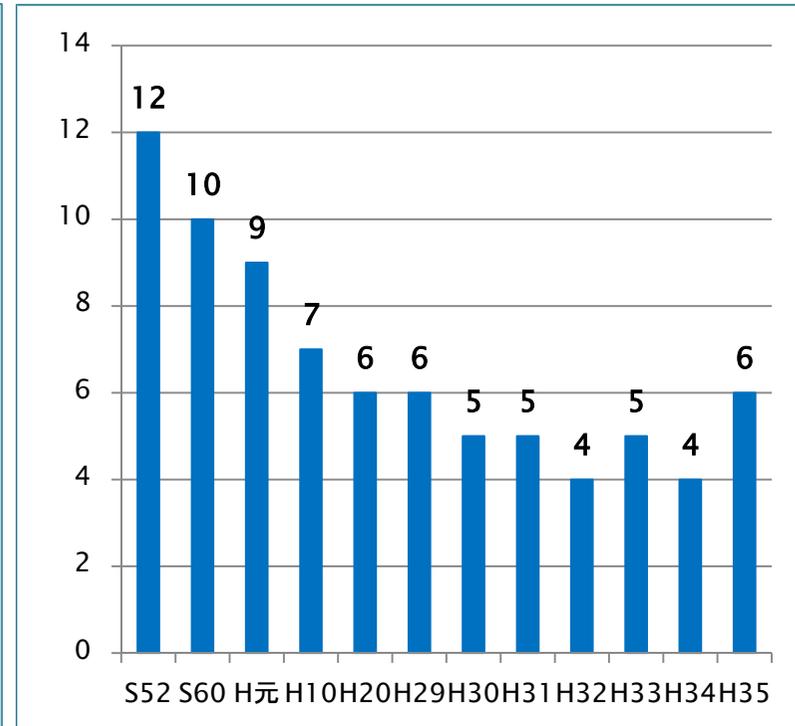
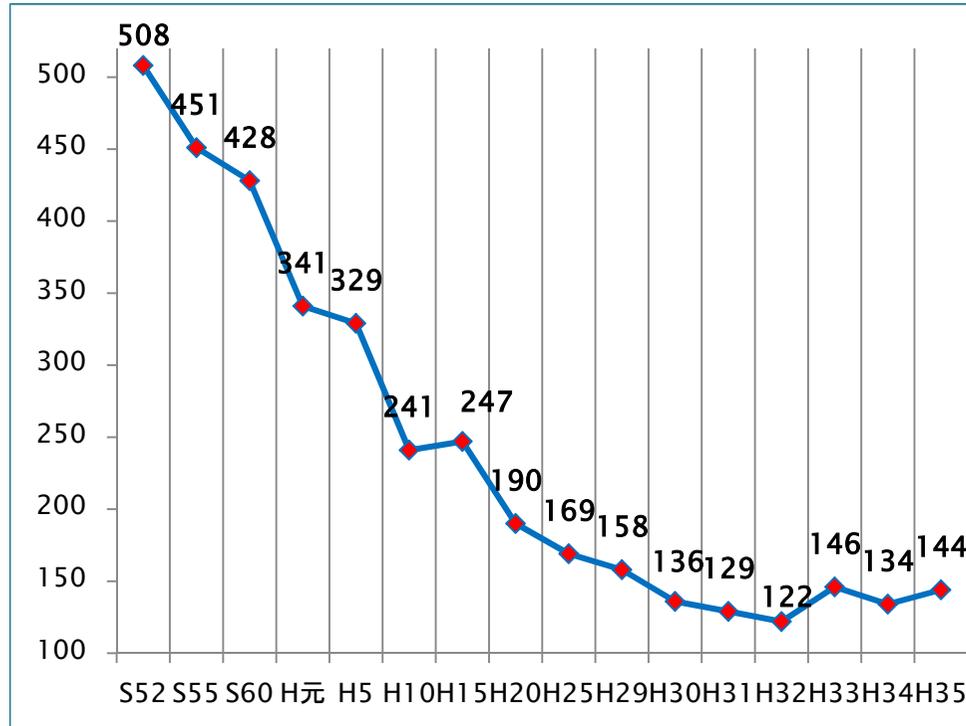
市内学校の学級数の状況（義務教育学校除く）

	小学校	中学校
19学級以上	8校	3校
12～18学級	7校	4校
9～11学級	鶴山台南小	—
8学級		—
7学級	池上小	—
6学級	横山小・南横山小・幸小	榎尾中・富秋中

まずは、榎尾中・富秋中校区にて学校適正配置の検討を行います。

生徒数・クラス数の推移

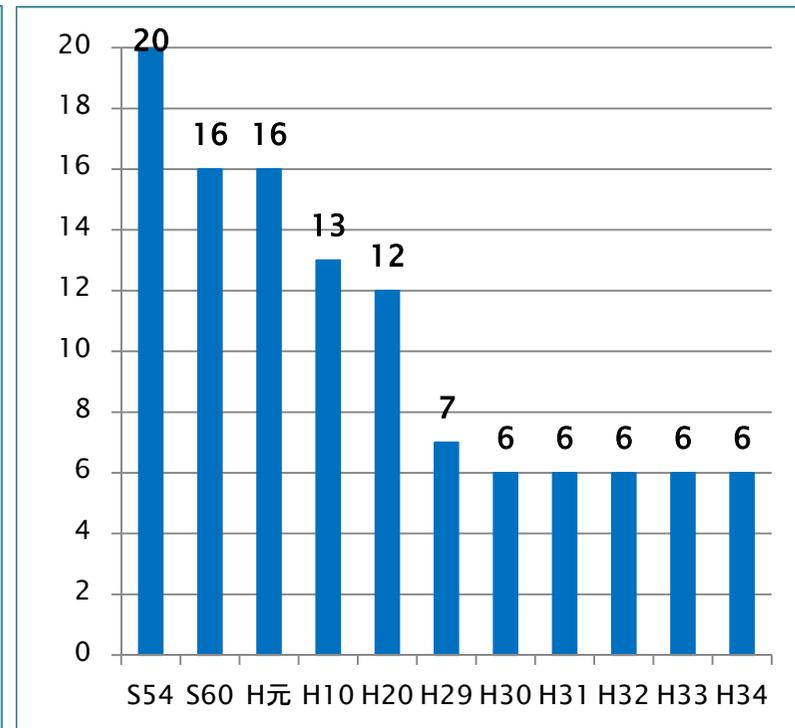
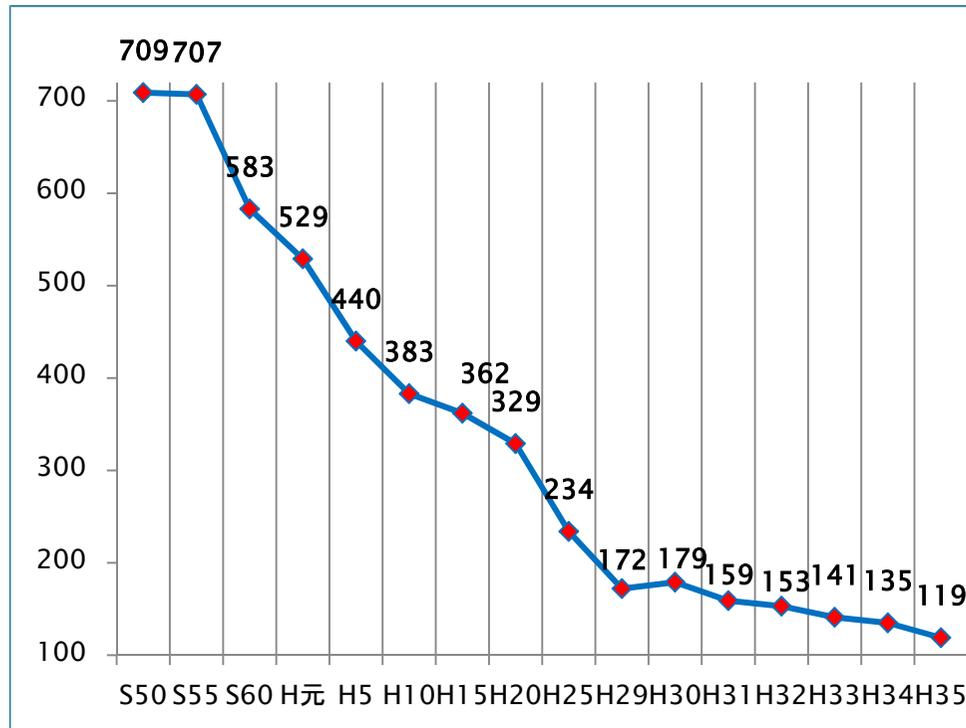
槇尾中



生徒数は昭和52年をピークに1/3程度に減少。
学級数は各学年4クラスから現在各学年2クラスであり、今後は1学年40人前後で推移し、単学級の学年も出てくる見込み。

横山小

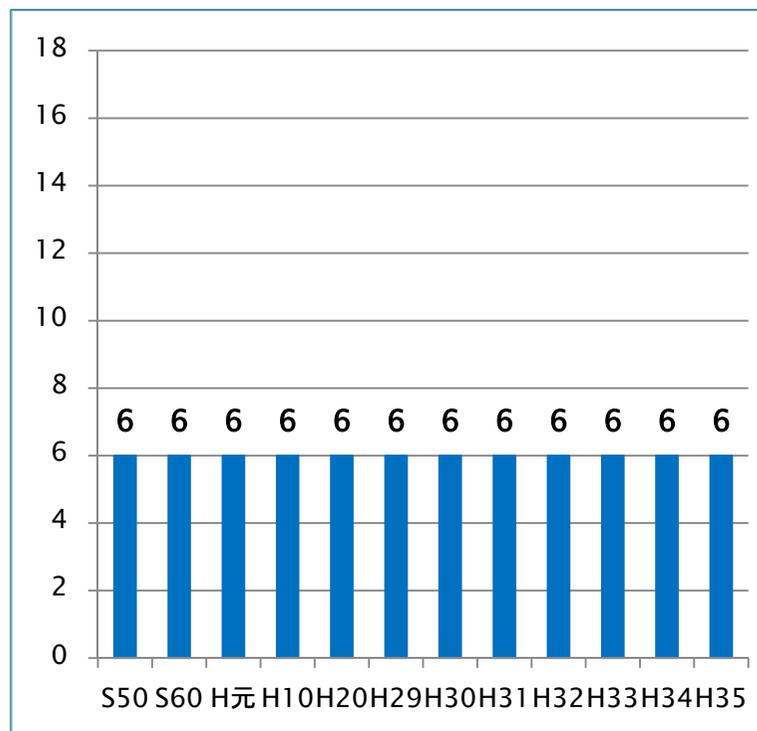
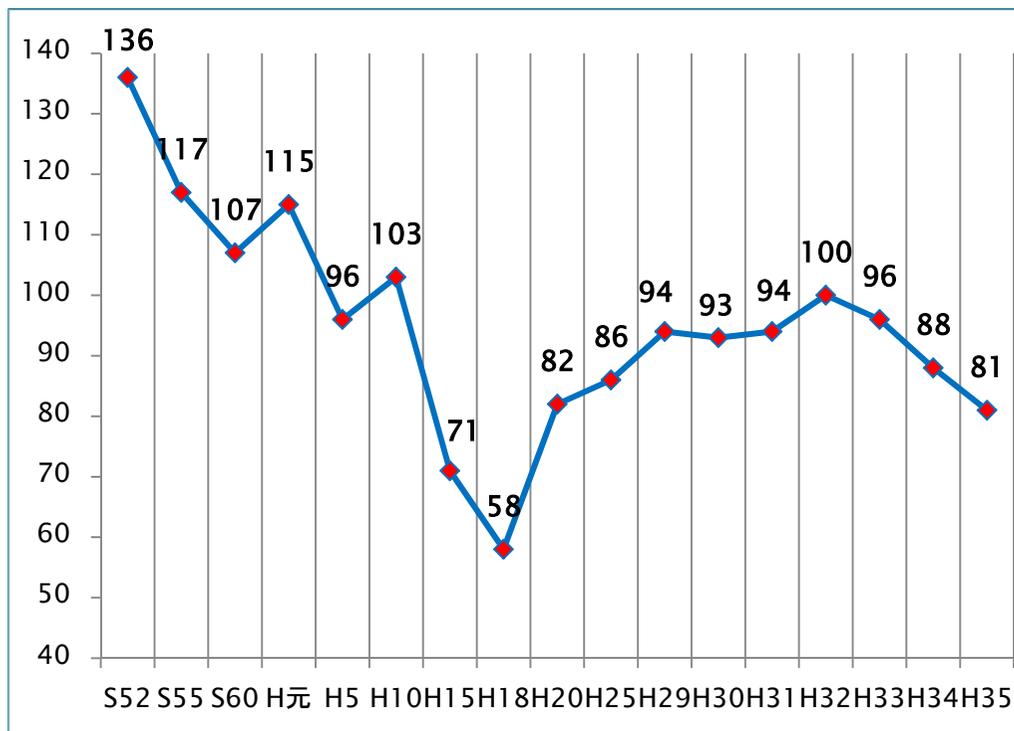
生徒数・クラス数の推移



児童数は昭和50年をピークに1/4程度に減少。
学級数は、今後すべての学年が単学級となる見込み。

南横山小

生徒数・クラス数の推移



平成18年度から特認制度を実施し、1学年20人を限度に募集。
平成29年度地元児童が27人、特認児童が67人の割合。
※平成31年度以降の児童数は特認児童の入学を毎年10人と仮定して算出。

国における方向性

「公立小中学校の適正規模・適正配置に関する手引き」

平成27年1月 文部科学省 策定

全学年でクラス替えを可能としたり、
学習活動の特質に応じて学級を越えた集団を編成し、
同学年に複数教員を配置するためには、
1 学年 2 学級以上が望ましい。

集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、
切磋琢磨することを通じて一人一人の資質や能力を伸ばして
いくという学校の特質を踏まえ、
小・中学校では**一定の集団規模が確保されていることが望
ましい**ものと考えられています。

◎南横山小学校の自然教育環境を活かした現状も
いいところが多い

◎横山小学校においても、地域人材や環境を活かした
教育活動には特色がある

→ 現状を維持することも選択肢のひとつだが、府内でも
施設一体型小中一貫校が多くできている現状であり、
学級数の少ない槇尾・富秋中学校区で学校適正配置
を行うこととした。

富秋中学校区での取り組み

学校だけでなく、老朽化する市営住宅やその他の公共施設を総合的に検討する「まちづくり検討会議」を組織し、その中で、学校適正配置についても検討することとなっている。

→ 5月から「子育て・教育部会」が スタート

榎尾中学校区での取り組み

○「意見交換会」の開催

- ・横山小学校区、南横山小学校区、特認保護者の単位で、1～3月にかけて開催

※ 3箇所×3回＝9回（延べ88人参加）

○南松尾はつが野学園施設見学会の開催

- ・30人参加

平成29年度における 意見交換会の概要 (第1～3回)

最終的な意思決定手続きについて

地域の意向等を確認しつつ、
適正就学対策審議会への諮問・答申を受け、
教育委員会（会議）での審議・議決を経た後、
最終的には、市議会での議決が必要。

適正就学対策審議会は、

- 教育委員会の諮問に応じ、就学区域の再編に関する
ことについて調査及び審議する
- 市議会議員代表、学識経験者、地域関係者等で構成

※これらの時期は、今後の状況で決定するため、未定

【参考】

仮の想定として、

施設一体型小中一貫校を整備する場合、
整備に必要な期間について

- 設計、工事で4～5年程度必要
- H30中に意思決定したとしても、
H35、H36の開校が想定される。

○南松尾はつが野学園の様子

○南松尾小中学校の移転統合の経緯

○府内14ある施設一体型小中一貫校の状況

- ・町内全ての小中学校を1つにした能勢町 ささゆり学園
- ・特認制度を実施している池田市 ほそごう学園

再編パターン

A: 当面現状のまま

…… 将来的に再度、あり方の検証必要

B: 3校を統合し小中一貫校とする

特認の小中一貫校

特認なしの小中一貫校

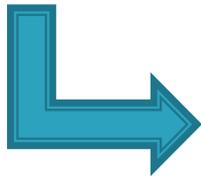
…… 場所については、現時点で未定
4～5年程度の準備期間が必要

C: その他

- … 横山小と南横山小のみで統合
- … 南横山小はそのまま、横山小と槇尾中で小中一貫校
- … 就学区域の見直し

施設一体型小中一貫校とすることで

9年間の系統的な指導や多様な異学年交流などを通して、中1ギャップの改善や社会性の醸成など、一体型を活かした教育が期待される



充実した教育環境により、「教育コミュニティ」として、地域の活性化を図ることができる。

※人口流出、人口減少の抑制に寄与されることも期待

より充実した教育環境をめざして

⇒ 地域だけで小中一貫校を導入することも選択肢の1つだが、

1学年2クラスを確保したい

⇒ 小中一貫特認校として設置することが手段として考えられる

※平成29年度現在、大阪府では2市(池田市、箕面市)で設置

より充実した教育環境をめざして

特認とし、2クラス確保することで



- ・切磋琢磨する場面
- ・集団活動の充実
- ・複数教員による学年指導
- ・クラス替えが可能

より充実した教育環境

また、特認後のイメージを1学年41～60人規模、
1学年2クラス 1クラス30人程度とし、少人数のよさも確保

1学年2クラスを確保するために必要な特認の児童生徒数

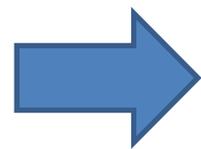
※1、2年生は36人で2クラスとなるが、3年生時を見通して41人で設定

H35	1年	2年	3年	4年	5年	6年	小計	中1	中2	中3	小計	総計
地元	14	19	28	26	26	31	144	29	31	43	103	247
特認	27	22	13	15	15	10	102	12	10	0	22	124
計	41	41	41	41	41	41	246	41	41	43	125	371

H45	1年	2年	3年	4年	5年	6年	小計	中1	中2	中3	小計	総計
地元	18	18	18	18	18	18	108	18	18	18	54	162
特認	23	23	23	23	23	23	138	23	23	23	69	207
計	41	41	41	41	41	41	246	41	41	41	123	369

特認の児童・生徒を確保 するための対策

少人数の複数学級確保



その他、教育の特色づくりを紹介

**小中一貫がどのようなものか
「わからない」との前提で、**

小中一貫の情報を中心に紹介

その他として、

**小中一貫となった場合の
跡地利用のイメージも紹介**

学校跡地活用の方向性について

(仮に小中学校が用途廃止され、民間活用する場合)

	榎尾中学校	横山小学校	南横山小学校
戸建住宅	○	○	×
福祉関連施設	○	○	○
コンビニ ガソリンスタンド ドライブインレストラン	△	×	○
小売、サービス業 ※一定条件の制約あり	○	○	×
地区計画による開発 の可能性	△	×	×

小中一貫校を建設する場合の学校の利活用について

・横山小学校、榎尾中学校

小中一貫校用地の候補地のひとつ。(全く未定)

どちらか(もしくは両者)については、
校舎、体育館などの除却等を検討し、

そのうえで、
民間活力の活用や地域広場機能などの検討必要

小中一貫校を建設する場合の学校の利活用について

・南横山小学校

小中一貫校用地としての活用は困難。

教育資源としての需要がある。

コミュニティの拠点としての役割が求められる。

民間活用という方法も選択肢としつつ、
現在の校舎、体育館等の利活用を
検討していきたい。

主な意見等について

○仮に、施設一体型の小中一貫校を建てる場合、建設場所については、榎尾中学校に限定せず、検討を行うべき。

○小中一貫校とせず、今のままでも良いと思う。

○子どもにとっては、小中一貫校が良いと思う。

○今のままとすることで、将来的に、南松尾はつが野学園や南池田校区等への移転統合となるのは心配。

○小中一貫校を建設したとしても、今後、児童生徒数が増える見込みはないので、2クラスが将来的にも確保されるか、不安がある。

○別の場所で小中一貫校の特認校とするなら、違う形での特認校を考える必要がある。

○設備面の充実が特色とならない。英語やプログラミング教育など、教育内容の魅力・充実がないと特認として通学させようと思わない。

○就学前児童の保護者の意見を十分に聞いてあげてほしい。

○学校があるので、地域が一体となり、活気も生まれている。
小中一貫校とする場合でも、利活用の検討が非常に重要。

今後の予定について

場所は未定だが

施設一体型小中一貫校の設置にむけて、

地域全体を対象とした説明会を

開催していきたい

ついては、

7月上旬に

**就学前保護者・小中学校児童生徒保護者
対象説明会**

7月下旬に

地域全体説明会

以上のスケジュールでそれぞれ開催したい

※会場はいずれも南部リージョンセンターを予定

それに先立って、

横山・南横山合同で
全体説明会の内容に関する意見交換会 を、

6月17日（日） 10:00～

南部リージョンセンター 2階大会議室

にて、開催し、その内容の充実に向けて意見を
お願いしたい。

本日の内容については、

○本日の内容については、各種団体内でも共有をお願いします。

**○開催案内については、
7月上旬の就学前・小中保護者へは個別発送、
7月下旬の地域全体へは6月の回覧で案内を予定**

当面の予定については以上です

その後については、

**場所等の整理ができれば、
再度、全体説明会の開催やアンケート等、
意見集約の方法を調整し、
地域の意向を確認した上で、**

**適正就学対策審議会 等の手続きを
検討していきたい**

本日は、

個人的意見でいいので、

- ・ 今後の進め方に対する、意見・アドバイス**
- ・ 小中一貫校とすることに対する、意見**
- ・ 「こんな説明・こんな進め方をしていくべき」
等の意見をだしていただきたい**

よろしく申し上げます。